

乳がん・子宮がん・ 歯周疾患検診実施中!

実施期間 12月25日(金)まで

対 乳がん…

昭和56年3月31日以前生まれの女性の町民

子宮がん…

平成13年3月31日以前生まれの女性の町民

歯周疾患…

昭和56年3月31日以前生まれの町民

申 受診希望の方は、早めに健康増進課窓口または電話でお申込みのうえ、医療機関へ予約し受診してください。

※乳がん・子宮がん検診は、い〜な!健康マイレージ対象事業です。

※乳がん検診・子宮がん検診無料クーポン券の配布を受けた方の有効期限も12月25日(金)までです。



特定健康診査・ 健康診査実施中!

実施期間 12月11日(金)まで

40歳～74歳で国民健康保険に加入している方の特定健康診査および後期高齢者医療保険に加入している方の健康診査の実施期間は、12月11日(金)までです。受診がお済みでない方は、お早めに受診しましょう。

※40歳～74歳で伊奈町国民健康保険以外の健康保険等に加入している方は、ご自身が加入している健康保険組合等に受診方法をご確認ください。

※発熱等何らかの体調不良がある場合は、事前に実施医療機関にご相談ください。

※新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が出ている間は、受診や医療機関への予約はできません。

問 国民健康保険に加入している方…

保険医療課 ☎ 2172

後期高齢者医療保険に加入している方…

保険医療課 ☎ 2174



肝炎ウイルス検診・大腸がん検診・ 前立腺がん検診・胸部レントゲン検査実施中!

実施期間
12月11日(金)まで

○肝炎ウイルス検診

対 昭和56年3月31日以前生まれの方

※過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがある方は受けられません。

費 無料

○大腸がん検診

対 昭和56年3月31日以前生まれの町民

費 600円 (70歳以上の方は300円)

○前立腺がん検診

対 昭和46年3月31日以前生まれの町民

費 1,500円

○胸部レントゲン検査

対 昭和56年3月31日以前生まれの町民

費 600円 (70歳以上の方は300円)

実施医療機関	電話番号
伊奈病院(健康管理センター)	723-6071
石くば医院	872-6121
伊奈中央病院	721-3022
今成医院	723-8280
内田クリニック	728-9296
尾崎内科クリニック	720-1701
金崎内科医院	728-8550
木村クリニック	723-8884
希望(のぞみ)病院	723-0855
世沢整形外科	723-9191
みやうち内科・ 消化器内科クリニック	783-3751
みなみのメディカルクリニック	720-0033

異なる予防接種同士の接種間隔が10月1日から変わりました



従来は、異なる予防接種同士の場合、接種してから次の予防接種を接種するまでに、一定の間隔をあける必要がありました。また、生ワクチンなら接種してから27日以上、不活化ワクチンなら接種してから6日以上の間隔をあけないと次のワクチンを接種することができませんでした。

今後は、下表のとおり、注射の生ワクチン間のみ接種してから27日以上あけることとし、その他のワクチンについては制限がなくなります。

なお、同じ予防接種を複数回接種する際の接種間隔は従来どおりとなりますので、ご注意ください。

詳しくは、町ホームページをご覧ください。



※注射生ワクチン：結核（BCG）、麻しん風しん（MR）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、水痘（みずぼうそう）等
経口生ワクチン：ロタウイルス

不活化ワクチン：ヒブ、小児肺炎球菌、B型肝炎、ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ（DPT-IPV/DPT/DT/ポリオ）、日本脳炎、インフルエンザ等

健康 一回メモ

痛み止めの胃腸障害

○解熱鎮痛剤の副作用は？

解熱鎮痛剤は肩、腰の痛みやカゼの喉の痛み、頭痛に対して日常的に使われています。最近ではドラッグストアなどで気軽に購入できるようになっています。

解熱鎮痛剤には胃潰瘍という副作用があります。解熱鎮痛剤は痛い場所のプロスタグランジンという物質を減らすことで炎症や痛みを和らげますが、胃の粘膜のプロスタグランジンが減ると胃酸が増える、胃粘膜の防御機能が落ちるなどの理由で胃潰瘍がでやすくなります。

○解熱鎮痛剤による胃潰瘍の症状は？

痛み止めによる胃潰瘍ではお腹の痛みが出にくい、という特徴があります。主な症状は、胃がムカムカしたり、食欲がなくなったりすることです。

潰瘍から出血して、血を吐いたり、真っ黒い便が出たりすることがあります。その場合は緊急で胃カメラを行い、血を止める必要があります。また、稀に胃に穴が開いたりすることもあります。その場合は開腹手術が必要となることもあります。

○どんな人が解熱鎮痛剤で胃潰瘍になりやすい？

65歳以上、胃・十二指腸潰瘍になったことがある人、高用量または2剤以上の解熱鎮痛剤を飲んでいる人、ステロイドの内服治療を受けている人、抗血栓療法（特に低用量アスピリン）を受けている人は解熱鎮痛剤で胃潰瘍になりやすいと言われています。

○予防の方法は？

プロトンポンプ阻害剤という胃酸を減らす薬や、ミソプロストールという胃粘膜のプロスタグランジンを増やす薬によって予防できます。胃潰瘍を患ったことがある方、低用量アスピリンなどを服用中の方は特にリスクが高いため、予防的にこれらのお薬を飲むことをお勧めします。また、選択的COX-2阻害剤という種類の解熱鎮痛剤では胃潰瘍が起こりにくいとされています。

痛み止め内服中に胃の調子が悪くなったときは主治医にご相談ください。また、胃の症状が起こりがちな方は安心して鎮痛剤を飲むためにも内視鏡検査（胃カメラ）をお勧めします。

〈提供：（一社）桶川北本伊奈地区医師会〉